

令和7年度第1回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

日 時	令和7年5月23日（金） 9時30分～11時00分
場 所	南国市役所 5階 第2～第5委員会室
出席者	南国市長 平山 耕三 南国市教育委員会 教育長 竹内 信人 職務代理 上岡 哲朗 教育委員 細川 善久 教育委員 楠瀬 公美

1 開会

開会の挨拶（平山市長）

2 議事

〔議事1〕 令和6年度南国市教育委員会の事務事業自己点検・評価について

【教育委員会事務局】

（資料説明）

【細川教育委員】

- 現在、教育委員会と一緒に学校訪問を実施しており、これまでに市内の小・中学校、幼稚園・保育園を含めて半分以上を訪問してきた。訪問していて気が付いたのは、校長先生のリーダーシップの下、計画的な学期スタートができていることから、どの学校に行っても児童・生徒が落ち着いて授業を受けていた。先生も一方的に教えるということではなく、子供たちに寄り添い、理解度や進捗状況を見ながら、児童・生徒と一緒に授業を作り上げることができているという印象を受けた。これまでは年度当初の計画について話し合う期間が短く、慌しく学期スタートを迎えていたが、ゆるやかな学期スタート事業の効果もあり、事前に先生同士で話し合う時間を確保し、その内容を十分に共有することができている。また、新たに受け持つ児童・生徒についての情報を事前に確認するなど、学期スタートに向けて準備するための時間をこれまで以上に確保できている。ゆるやかな学期スタート事業だけでなく、支援員の増員等も含めた様々な取組の結果、今年度は各学校において良いスタートができていると思われる。そして、今後も発展させていくためにも、各事業を継続していく必要があるので、市長には事業が継続できるよう支援をお願いしたい。

⇒ 【平山市長】

- 昨年度から支援員を増やした取り組み等が、良い結果に繋がっているのではないかと感想をいただいたが、私自身も成果が出て良かったと思っている。また、いじめについても重大事態は発生しておらず、そこにも繋がっているのではないかと考えると、成果としては非常に効果が高いのではないかと感じている。不登校の児童・生徒数については、長期欠席児童・生徒の全体に占める割合が高いという課題は残っているが、新規不登校児童生徒数は目標数値以下に抑えることができおり、今後もこの状況を維持又は改善していきたいと考えている。

令和7年度第1回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

【議事2】小学校の水泳指導における安全管理について ～水泳授業の事故防止に向けて～

【教育委員会事務局】

（資料説明）

【竹内教育長】

- 高知市内の学校で発生した水泳授業での事故を受けて、県内の各小・中学校は水泳の授業に関し、非常事態であるとの認識で事故防止のために取り組んでいる最中である。今年度も水泳の授業が間もなく始まるが、各学校において様々な課題が出てきており、どの学校でもその対策に苦慮している。県教委では全校から教員を抽出して安全管理研修を実施しており、各市町村・各学校でも環境整備・監視体制・指導方法についての見直しに尽力していただいている。当市においても先程説明があったとおり、環境整備のために各種備品を必要としており、予算や調達内容・時期等も含めて現在調整を進めている。県民の注目も高まっているが、何より子供たちの命を守るためにも、各学校で安全に水泳の授業が実施できるよう精一杯支援をするつもりである。

【細川教育委員】

- 昨日、三和小学校でコミュニティスクールの会が行われ、校長先生からプールの監視者を3人確保しても不安が残るので、保護者や地域の方にもボランティアで監視の協力をして欲しいと要望があったことを聞き、また、別の方からボランティアで協力してあげて欲しいと自分にも話があった。子供たちのためなので、当然できる限りの協力はしたいとは思っている。しかし、ボランティアでプールの監視に協力した場合、何か事故が発生した時に何の保証もなく、個人で裁判等の対応もしなければならない可能性があるので、『ボランティアでプールの監視に協力しますよ』とはなかなか言い辛い。三和小学校に限らず、他の小学校でも地域の方や保護者の方に協力をお願いすることがあるかもしれないので、ボランティアで監視に協力する場合は保険を掛けていただくなど、何かしらの対策をしていただかないと協力したくてもできないと思われる。ですので、南国市には外部協力者のための保険に加入していただくなど、安心して協力できるような体制を整えていただけたらと思い、一つの提案としてお話しさせていただいた。

⇒【平山市長】

- 支援できるところは支援していく方向で考えていけば良いと思うが、ボランティアという形で監視に加わることに對して、どこまで責任が及ぶのか、その方の泳力・身体能力等により異なるかもしれないがどこまで監視をしてもらうのか、様々なことを慎重に検討する必要があると思っている。

【浅野教育委員】（欠席のため教育委員会事務局が代読）

- 学校設備に限らず上下水道や道路など、日本のあらゆるインフラ設備が老朽化し、修繕が必要な時期に来ていると思われる。その中でも、子供たちの命に係わる学校施設の修繕等につきましては、喫緊の課題として早急に取り組みをお願いしたい。

⇒【平山市長】

- 修繕が必要なインフラ設備の内、命に係わるような部分は早急に修繕等の対応を行うのは当然のことであると思われる。予算が限られているということもあるが、重大な事故を引き起こすような状況で授業を行うのは不適切だと思われるので、必要な対応をしていかなければならないと考えている。

令和7年度第1回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

〔議事3〕「ドリームトーク in 議会」開催について

【教育委員会事務局】

（資料説明）

【楠瀬教育委員】

- 参加者は南国市内の中学校から2～3名とあるが、大変人気で参加を希望する生徒が多かったと認識している。また、傍聴席にも限りがあり、傍聴もできない生徒がいると思われるが、議場に入れなかった生徒への報告・共有についてどのように考えているのかご教示いただきたい。

⇒【教育委員会事務局】

- 当初は、南国市議会と同様に YouTube での配信を考えていたが、学校側や保護者側とも話をする中で、不特定多数に対し公開され、映像データとして残ってしまうことへの不安感があるという意見が出た。そのため、YouTube 配信と同様に議会の様子を録画し、録画データを保存した記録媒体を各学校に複数配布、及び議会に参加した生徒の保護者にも配布する形で対応できないか検討している。

【上岡職務代理】

- 実際の議場で、あらかじめ質問を用意し、実際の議会と同様に答弁していただくのは、参加した生徒も自分たちの考えを受け止めてもらっていると感じることができ、とても良い経験になるのではないかと考えている。この取り組みを通じて、子供たちの未来と南国市の未来がどこかで交わるようなことがあれば、とても魅力的な取り組みになると思われるので、よろしく願いしたい。

⇒【平山市長】

- 生徒からの提案が実現できるようなことがあれば、私としても嬉しく思う。高校生の提案ではあるが、シャモ番長は実際に生徒の提案から実現したものであり、政策立案のヒントになるような議論ができればと思っている。

〔議事4〕「ふれあいサテライト（仮）」設置について

【教育委員会事務局】

（資料説明）

【細川教育委員】

- 私がふれあいに勤めていた頃の実例で、十市小学校出身で香長中学校に進んだ生徒が不登校となったが、SSW（スクールソーシャルワーカー）や学校の働きかけもあり、当該生徒も一度はふれあいに通う気になってくれた。しかし、家族による送迎が困難で本人も自転車に乗れなかったこともあり、交通手段としてコミュニティバスを利用しようとしたが、SSW が付き添い一度は来てくれたものの、その後は継続して通うに至らなかった。このように、通いたくても通えない児童・生徒も、サテライトがあれば通いやすくなると思われるので、是非、この計画を進めていただきたい。

⇒【平山市長】

- 実際のデータを見ても遠隔地から通う児童・生徒が少ないと感じられるので、このような取組を進めるのは有効なのではないかと思う。予算が必要という課題はあるが、財政課とも相談していただけたらと思う。

令和7年度第1回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

【議事5】南国市運動部活動地域移行について

【教育委員会事務局】

（資料説明）

【浅野教育委員】（欠席のため教育委員会事務局が代読）

- 南国市における部活動の地域展開は、まほろばクラブさんのご協力もあり順調に進んでいると認識している。そんな中で最近強く感じるのは、地域社会の中で学校の存在は年々小さくなっているのではないかとということと、保護者以外も含む全ての大人と子供の関わりの重要性についてである。部活動が学校から地域へと移行し、遊ぶ場所はオンライン環境に移行するなど、子供たちの生活の中から学校単位での活動が少なくなっている。これは学校の負担軽減を主としたものではなく、広く複雑化された社会を生きる子供たちにとって必然の環境であると感じている。このように、子供たちの活動範囲が学校外にも広がった結果、学校外の大人が子供に関わる機会や責任が増しているとも感じている。そのため、義務教育活動で南国市が目指す指針は、学校現場や教育委員会のみに留まらず、南国市という広い社会で理解される必要があると考えている。新しい図書館やMIARE！（みあーれ！）等の生涯学習施設で子供たちに関わる大人はもちろんのこと、保護者以外も含めた南国市の全ての大人が、『貴重な子供たちをどう育てていくのか』という視点を持つことが重要であり、その発信を是非、市長にもお願いしたいと考えている。教育委員というよりは地域に暮らす一社会人として、後世を担う子供たちの育成について、もっと主体的に考えるべきであると感じることが多くあるので、お伝えさせていただく。引き続きよろしく願いしたい。

【議事6】新図書館及び旧図書館移転後の利用について

【教育委員会事務局】

（資料説明）

特に意見・質問等無し

【議事7】南国市いじめ・いじめ疑い含む報告及び、いじめ重大事態の報告について ※非公開

その他

【上岡職務代理】（議事6に対して発言）

- 私は南国市の図書館を月1回程度利用しており、先日、図書館を訪れた際に小さなお子さん二人を連れた若い夫婦がいたのですが、よく見るとその夫婦は二人とも以前に私が勤めていた学校の卒業生でした。保護者が傍で見守る中、本当は駄目ですけど子供たちは本棚の間を走ったりしており、その光景を目にした私はとても良い雰囲気だなと感じた。図書館は本来、調べ物をする、静かに本を読む、勉強する等が本来の用途かもしれないが、それと同時に小さな子供が保護者と共に過ごせる、そんな場所であればとても良い雰囲気になると思われるので、是非、新しい図書館が住民に広く活用していただける場所になるよう、よろしく願いしたい。

令和 7 年度第 1 回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

⇒【平山市長】

- ご意見いただいたようなことも考えながら設計されていると思われるので、完成を楽しみにお待ちしております。

その他、特に意見・質問等無し

3 閉会

以上